

# 平成30年度池田市立図書館の運営に関する評価

令和元年11月

## 1 はじめに

池田市立図書館では、平成20年の図書館法改正と「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」（平成24年文科省告示）により、図書館評価の実施が努力義務になったことを踏まえ、平成30年度事業を対象に図書館評価を行い、その結果を通して、今後の図書館運営の改善等につなげ、より良い図書館サービスをめざしてまいります。

## 2 評価の方法

### (1) 自己評価

- ・評価項目は、基本的な利用に関する項目と「池田市立図書館運営基準」に基づく施策に関する項目で設定し、自己評価を行います。
- ・数値評価は目標値を対前年度比増に設定します。

### (2) 外部評価

図書館協議会において、当該年度の活動実績と自己評価について報告するとともに協議会委員の意見をいただき、評価を実施します。

## 3 評価の基準

- A 計画どおり実施し、一定の成果があった。
- B 概ね計画どおりだが、課題が残った。
- C 計画に遅延があるなど不十分な点や課題が多かった。

### (1) 基本的な利用に関する評価について

(年度末比較)

指標	平成29年度	平成30年度	達成状況	図書館評価	図書館協議会評価
年間来館者数	441,691人	380,979人	60,712人減	B	B
年間貸出人数※	245,188人	221,450人	23,738人減	B	B
年間貸出冊数※	688,567冊	619,005冊	69,562冊減	B	B
有効登録者数※	16,390人	16,437人	47人増	A	A

※個人利用者数

## ●自己評価説明

来館者数、貸出人数、貸出冊数の減少は、本館が移転のため12月末で閉館したことによるものである。本館閉館までの12月末で比較してみても、来館者数319,520人（前年338,263人）で18,743人減、貸出人数177,838人（前年184,641人）で6,803人減、貸出冊数508,527冊（前年519,579冊）で11,052冊の減となっているが、大阪府北部地震で本館の書架が一部倒壊したため、一時休館したことによる開館日数減少の影響があると思われる。有効登録者については、横ばい状態で、リピーター等利用の定着が伺える。

## ●図書館協議会の意見

- ・年度ごとに開館日数が異なっており、厳密に比較するのであれば、開館日数での比較が必要である。
- ・本館移転のための閉館で利用数が減少しているが、移転後の利用増を期待する。

## ●結果の分析及び改善策

### 【結果の分析】

- ・年度末での比較では、開館日数にバラつきが生じることから開館日数等での比較が必要である。
- ・有効登録者数はわずかに増加しているが、更なる登録者増が課題である。
- ・本館移転や大阪府北部地震の影響により来館者数、貸出冊数、貸出人数が減少しているが、次年度の増加に向けてサービス向上を図る必要がある。

### 【改善策】

- ・利用増に向けて、利用者のニーズを把握し、より利用しやすくなるよう配架を見直す。
- ・利用者にとって有益かつ魅力ある資料収集に努める。
- ・利用者の関心のある時事や話題のテーマ展示を行い、特定主題への興味を喚起し、更なる情報を得たいという気持ちを触発するよう創意工夫する。
- ・図書館を利用したことがない市民に向けて利用のきっかけとなるよう、様々な年代や対象に応じた行事を開催する。

(2) 「池田市立図書館運営基準」に基づく施策評価

① 多様な資料・情報の収集、整理、保存に努め、市民の読書活動を推進します。

目 標	「池田市立図書館収集方針」に基づいた資料の収集			
具体的取組み	選書委員会の実施による適正な資料の収集、保存を行う			
取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蔵書数 397,827 冊（前年 392,582 冊）</li> <li>・みんなでつくるまちの寄附金により 5,159,743 円を図書費に充当。児童書 3,218 冊を購入し、新本館キッズコーナー等児童書の充実に努めた。</li> </ul>			
評 価	図書館	A	図書館協議会	A

目 標	郷土資料の充実			
具体的取組み	本館、石橋プラザ、それぞれの特性を活かした郷土資料の充実、及び整理に努める			
取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土資料冊数 10,313 冊（前年 10,143 冊）</li> <li>・「落語のまち池田」として、落語コーナーの充実を図り、表示の見直しや資料の整理を行った。</li> <li>・池田関連の新聞記事を資料として整理した。（プラザ）</li> </ul>			
評 価	図書館	A	図書館協議会	A

目 標	行政資料の充実			
具体的取組み	庁内の各部署で発行された資料を積極的に収集し、保存する			
取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政資料は、ファイル形式のものが多く、前年度との数字での比較は難しいが、市各課に依頼し、必要な資料を積極的に収集・保存した。</li> <li>・行政資料は多岐にわたるため、市の発行物の主なものについては収集できたが、府が発行したものや、市の発行物においても細かいものについては収集しにくい点が課題である。</li> </ul>			
評 価	図書館	B	図書館協議会	B

## ●図書館協議会の意見

- ・池田市の特徴ということで落語関係の資料が充実している。
- ・寄贈図書が活用され、キッズコーナーや育児関係等、市民のニーズに合わせた資料の収集が充実している。
- ・資料の収集の項目としてはたくさんの寄贈図書を受け、新図書館の児童コーナーで利用者に活用されていて良い。
- ・行政資料については、各部署に発送を依頼して資料の充実に努めてもらいたい。教育委員会以外の部署にも周知し、市のあらゆる分野の情報を図書館から市民に向けて発信すべきである。

## ●結果の分析及び改善策

### 【結果の分析】

- ・資料の収集については、選書委員会を設け、適切な収集に努めている。
- ・行政資料の収集・整理方法が課題である。

### 【改善策】

- ・市役所内の各部署へ行政資料の提供を呼びかける。
- ・より利用しやすい行政資料の保存・提供方法を検討する。

② 市民が必要とする資料や情報を提供することにより、「地域の情報拠点」として課題解決に役立つ図書館をめざします。

※●は平成30年度重点目標

目 標	レファレンスサービスの充実			
具体的取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レファレンス用図書・資料の充実</li> <li>・レファレンス担当職員の能力向上</li> </ul>			
取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レファレンス件数 601 件（前年 710 件） 本館が1月より閉館したことから、年度末の件数は減少しているが、12月末までの月平均では63件（前年59件）となり、前年度を上回っている。</li> <li>・レファレンス関連の職員研修には6名が参加し、能力向上に努めた。</li> </ul>			
評 価	図書館	A	図書館協議会	A

目 標	子育て支援サービスの充実			
具体的取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>●子育て支援コーナーを設置 関連書や市内の子育て情報をまとめて提供する</li> <li>・「子育てのちょっといい話」の開催</li> </ul>			
取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本館のキッズ絵本コーナーのそばに子育て情報コーナーを設置し、子育て関連の資料から市の関係各課のパンフレットに至るまでまとめて配架することで、子どもを連れた親が館内を歩き回らなくても必要な資料・情報が取得できるようになった。</li> <li>・「子育てのちょっといい話」は、乳幼児向けのおはなし会などの後に、保健師や栄養士等に子育てに役立つお話や質問に答えてもらうなど、保護者の身近な疑問を解決に導けるよう情報提供に努めた。 (本館 4 回、プラザ 5 回 合計 9 回)</li> <li>・市の子育て世代包括支援センター「にじいろ」担当者による子育て相談を実施した。(プラザ)</li> <li>・出張おはなし会の実施 (本館 1 回、プラザ 4 回)</li> </ul>			
評 価	図書館	A	図書館協議会	A

目 標	課題解決サービスの充実			
具体的取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本館に認知症コーナーの設置</li> <li>●「暮らしに役立つ情報講座」の開催</li> <li>・健康講座などの実施</li> </ul>			
取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本館 2 階の医療情報コーナーに併設して、認知症に関する本を各分野から集めた認知症コーナーを設置した。</li> <li>・市民の日常生活における課題解決に向けて「暮らしに役立つ情報講座」を開催した。(5 回 109 人)</li> <li>・健康講座として、「身体にやさしい歩き方教室」を開催した。(1 回 27 人)</li> </ul>			
評 価	図書館	A	図書館協議会	A

目 標	ホームページや SNS の活用			
具体的取組み	図書館から、行事やおすすめ資料などの情報を積極的に発信する			
取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネット予約件数 75,689 件 (前年 82,528 件) 本館閉館の影響により年度末では減少しているが、12 月末までの月平均では、6,960 件 (前年 6,940 件) で横ばい状況である。</li> <li>・行事開催時にツイッターを活用して直前にも案内するなど、頻繁に情報発信をするよう努めた。</li> <li>・ホームページや SNS で行事案内や行事報告を行った。</li> <li>・乳幼児用ブックリストや中学生のおすすめ本等を発信した。</li> </ul>			
評 価	図書館	B	図書館協議会	A

目 標	広域利用・相互貸借の促進			
具体的取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 7市3町広域利用及び川西市との相互利用の促進</li> <li>・ 相互貸借の活用</li> </ul>			
取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広域利用は平成29年7月より3市2町から7市3町に拡大実施。 登録者 877人（前年 779人） 利用数 池田市→他市町住民 1,554人 4,027冊（前年 1,841人 5,157冊） 他市町→池田市民 10,994人 35,526冊（前年 10,290人 32,873冊） 本館が閉館した影響からか、他市町住民からの貸出しは減少し、池田市民の他市町の図書館での貸出しは増加傾向となった。</li> <li>・ 川西市との相互利用 登録者 325人（前年 280人） 利用数 池田市→川西市民 964人、2,155冊（前年 1,119人、2,659冊） 川西市→池田市民 5,814人、16,532冊（前年 5,571人、15,743冊） 川西市民の池田市利用は減少したが、池田市民の川西市利用は増加した。</li> <li>・ 相互貸借数 借受 3,045冊（前年 3,300冊） 貸出 649冊（前年 849冊） 本館の閉館により、借受け、貸出しともに前年度より減少した。</li> </ul>			
評 価	図書館	B	図書館協議会	B

## ●図書館協議会の意見

- ・おはなし会などに参加される若いお母さんは、ホームページなどを見て参加される方が多いので、これからも更にわかりやすいSNSの活用をお願いしたい。
- ・認知症のコーナーを利用することが多く、資料が一カ所に集まっているのが良い。
- ・近年台風の災害が多いので、防災関係のコーナーを設置してはどうか。
- ・ツイッターに掲載する内容に写真を多く取り入れたら、フォロワーが増加するのではないか。
- ・インターネットを見ない世代に向けて、地域の掲示板などを活用できないか。
- ・広域・相互貸借には、処理等に手間がかかることから、従事する職員数の充実を図ってもらいたい。
- ・レファレンスサービスはとても役立つので、もっと周知してもらいたい。
- ・ホームページは充実して使いやすいことから、評価は「A」とする。

## ●結果の分析及び改善策

### 【結果の分析】

- ・インターネットでの予約や蔵書検索、行事の案内などを活用している利用者が多いが、高齢者など、ネットを利用しない層へのサービス向上を検討する必要がある。
- ・医療情報・認知症コーナーの利用促進に向けての取組みが課題である。
- ・市民の日常生活における課題は多種多様になり、課題解決に向けた資料の提供が求めら

れる。

**【改善策】**

- ・ ネットを利用しない市民への広報について、ポスターやチラシなど紙ベースでの広報を拡大する。
- ・ 医療情報・認知症コーナーの利用促進に向けて、関係講座の実施を検討する。
- ・ 各月のテーマ展示には、時事問題や市民の身近な課題解決に役立つテーマを設定する。
- ・ レファレンスサービスの周知方法を検討する。

③ 子どもたちの豊かな「学び」を応援し、学校、家庭、地域等と連携して子ども読書活動の推進を図ります。

目 標	おはなし会等の実施			
具体的取組み	子どもが小さい頃から読書に親しめる環境づくりを行うため、おはなし会等を開催する			
取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ おはなし会実施回数 79回 1,729人(前年100回 2,200人) 乳幼児から小学生を対象に全館で定期的におはなし会を開催し、子どもが読書に親しめる環境づくりに努めた。本館閉館により年度末では参加者が減少しているが、12月末までの月平均参加者数は173人(前年173人)となり、同数となった。 乳幼児～幼児対象では盛況だが、小学生以上の参加者が少ないため、参加促進に向けての取組みが今後の課題である。</li> </ul>			
評 価	図書館	B	図書館協議会	A

目 標	調べ案内の作成			
具体的取組み	子どもたちが調べたい内容を容易に取得できるよう案内を作成する			
取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調べ案内②「大阪府について調べる」を作成。 調べ学習支援として全館内で配布するほか学校図書館にも配布し、ホームページに掲載した。移転準備に業務が集中し、作成に要する時間がなく、作成数が1点のみとなった。作成部数の増加に向け、担当人数の確保等が課題である。</li> </ul>			
評 価	図書館	B	図書館協議会	B

目 標	ヤングアダルトサービスの充実			
具体的取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10's コーナーの活性化</li> <li>・10's コーナー通信の発行</li> <li>・ブックリストの配布</li> </ul>			
取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当コーナーでワークショップ「クリスマスリースを作ろう」(1回 19人)を開催し、活性化を図った。</li> <li>・10's コーナー通信を発行し、各館内で配布するほか学校図書館や市内高校に配布し、中高生の利用促進に取り組んだ。</li> <li>・ブックリスト「ととのえる」「失敗を楽しむ 成功を学ぶ」を発行し、展示コーナーを設けて表紙を向けた配架をするなど、手に取りやすい工夫に努めた。</li> </ul>			
評 価	図書館	A	図書館協議会	A

目 標	学校図書館との連携促進			
具体的取組み	学校司書と連携し、調べ学習用資料などを提供する			
取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・FAXを使用して学校司書からのレファレンスや調べ学習用の資料収集を行った。また、授業で使用する資料や生徒からの予約本は庁内連絡便で配送するなど、早期の対応に努めた。</li> <li>・学校図書館教育研修会を図書館で開催し、学校司書のニーズの把握及び資料提供に役立てている。</li> </ul>			
評 価	図書館	A	図書館協議会	A

目 標	団体貸出しの拡充			
具体的取組み	学校や文庫、地域コミュニティなどの団体貸出しを実施			
取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体貸出冊数 26団体 44,326冊 (前年 26団体 57,397冊)</li> <li>・今年度は本館移転準備のため、3月の学校配本や文庫等の入替えができなかったことから、貸出冊数は減少した。</li> </ul>			
評 価	図書館	C	図書館協議会	B

目 標	見学や職場体験の受入れ			
具体的取組み	小学校の見学や中学校の体験学習の受入れを実施			
取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館見学 754 人（前年 1,143 人） 市内小学校 3 年生の施設見学を受け入れているが、依頼校数が前年より少なかったため参加者が減少した。</li> <li>・職場体験学習 17 人（16 人） 主に市内中学校 2 年生の職場体験を受け入れている。有意義な体験となるよう対応可能な受入れ人数を 2 名までと限定して実施しており、今後も受入体制を整えたい。</li> </ul>			
評 価	図書館	B	図書館協議会	B

### ●図書館協議会の意見

- ・「団体貸出しの拡充」については、図書館の評価が「C」となっているが、学校への対応など、迅速に実施できていることから協議会の評価は「B」とする。
- ・「おはなし会等の実施」については、工夫をこらし、参加者も多いことから、協議会の評価は「A」とする。
- ・旧本館の 10's コーナーは雰囲気良かったので、新図書館でも前図書館と同様の雰囲気作りを期待している。
- ・石橋プラザで実施している「夜のおはなし会」は、大人になっても誰かに本を読んでもらう経験ができるのがとても良かったので、今後も継続して実施してもらいたい。

### ●結果の分析及び改善策

#### 【結果の分析】

- ・小学生向けおはなし会への参加促進が課題である。
- ・児童・生徒への調べ学習支援として、調べ案内の発行が効果的だが、作成に時間を要することから、作成する人員の確保が必要である。
- ・本館移転により、団体貸出しが減少したが、来年度は円滑に貸出しが実施できるよう努める。

#### 【改善策】

- ・小学生以上に向けては、図書館でのおはなし会参加数は少ないが、ボランティア「おはなし飛行船」が市内小学校でおはなし会を実施しており、図書館に来館しにくい児童へ

の読み聞かせの充実に向けて、「おはなし飛行船」への支援を継続して実施する。

- ・10's コーナーの活性化に向けて、更に魅力的な資料の選書やブックリストの発行、テーマ展示の充実を図る。
- ・本館移転後の団体貸出が円滑に実施できるよう、効率の良い貸出・返却方法を検討する。

④ 図書館ボランティアとの協力を深めるとともに、市民同士の交流の機会・場を提供し、市民がわくわくしながら集い、出会う、楽しい図書館をめざします。

目 標	グループ学習や発表の場の提供			
具体的取組み	図書館を活用して活動する市民グループ等の学習、発表の機会、場を提供する			
取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「オカリナとピアノで綴る七夕手話おはなし音楽会」(手話ボランティアによる手話講座と手話講座受講生によるおはなし会)(1回 20人)</li> <li>・熊谷さんのおりがみ講座 (1回 11人)</li> <li>・子どもが読み手となる「みんなが主役のおはなし会」(プラザ) 読み手 6人(小2・2人、小4・2人、小5・1人、小6・1人) 聞き手 13人(0~6歳・6人、大人・7人)</li> <li>・高校生による本の展示とブックリストの作成(プラザ) 市民参加の行事を行うことで図書館に親しみを持ってもらうことができた。</li> </ul>			
評 価	図書館	A	図書館協議会	A

目 標	ボランティアとの協働事業の実施			
具体的取組み	図書館ボランティアとの連携をさらに強化する			
取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館まつり 参加ボランティア数 106人(前年 88人)</li> <li>・年間ボランティア参加人数 1,815人(前年 2,218人)</li> <li>・おはなし会、手話講座、点字講座等、多数の行事開催 本館の閉館により一時活動を休止することになったが、12月末までは活発に連携した行事を開催出来た。新図書館でも活動は継続。</li> </ul>			
評 価	図書館	A	図書館協議会	A

目 標	他機関等と連携した各種行事の開催			
具体的取組み	様々な年齢及び対象に応じた行事を他機関等と連携して開催し、図書館の活性化に努めるとともに、市民同士が交流できる機会を提供する			
取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内施設、近隣大学や高校等と連携し、行事を実施した。</li> <li>プラザミニ寄席（5回 87人）、高校生といっしょ～プラザおはなし会（6回 86人）LEDランプシェード工作教室（1回 16人）、たのしい人形劇（1回 39人）</li> <li>他、多数行事を開催した。</li> </ul>			
評 価	図書館	A	図書館協議会	A

目 標	図書館協議会の充実			
具体的取組み	多様化する図書館へのニーズに対応するため、図書館協議会の充実に努め、利用者サービスの向上を図る			
取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4回開催。図書館の管理運営のあり方について審議、答申</li> <li>・第20期図書館協議会発足</li> </ul>			
評 価	図書館	A	図書館協議会	A

### ●図書館協議会の意見

- ・どの項目も積極的に取り組んでおり、すべての項目において協議会の評価は「A」とする。
- ・図書館移転後も継続して取り組んでもらいたい。

### ●結果の分析及び改善策

#### 【結果の分析】

- ・市民が交流できる図書館となるよう、市民参加型の行事の開催を活発に行う必要がある。
- ・本館移転のため、ボランティア活動が一時期中断したが、移転後も同様に活動できるように調整を行う必要がある。

#### 【改善策】

- ・市民が講師や読み手となる行事等の開催に柔軟に対応する。
- ・本館移転後にボランティア活動を円滑に再開できるように準備をする。

⑤ 高齢・障がいなどの理由により図書館利用が困難な市民へのサービス拡充や情報提供の格差解消に努め、誰にでもやさしい図書館をめざします。

目 標	障がい者支援資料の充実			
具体的取組み	大活字本やデージー図書等の充実を図る			
取組み結果	障がい者支援資料点数 4,486 点（前年 4,367 点） 大活字本の購入やさわる絵本の寄贈などにより、119 点増加した。			
評 価	図書館	A	図書館協議会	A

目 標	多言語サービスの充実			
具体的取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多言語おはなし会</li> <li>・多言語利用案内の更新</li> </ul>			
取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多言語おはなし会（2回 45人） 国際交流センターと石橋プラザで2回開催するなど、各地域の住民が参加しやすいよう、場所を変えて開催した。</li> <li>・多言語利用案内を改訂し、本館、石橋プラザ、国際交流センター等で配布した。</li> </ul>			
評 価	図書館	A	図書館協議会	A

目 標	図書館への来館が困難な市民へのサービス充実			
具体的取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宅配サービスの拡充</li> <li>・移動図書館の巡回</li> </ul>			
取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宅配サービス貸出冊数 231 冊（前年 82 冊） 登録者数は前年と同じだが、一度に利用される冊数の増加により、貸出冊数は増加傾向となった。</li> <li>・移動図書館利用数 2,089 人 8,619 冊（前年 1,722 人 7,635 冊） 本館の閉館により、1 月以降は予約本の受取り場所を移動図書館のステーションに変更する利用者が増加したことにより、前年より増加した。</li> </ul>			
評 価	図書館	B	図書館協議会	B

目 標	図書館設備の改修・改築			
具体的取組み	図書館の老朽化に伴う施設の改修・改築の実施			
取組み結果	本館の老朽化が問題視されていたが、令和元年5月に駅前へ移転することとなり、改修等の諸課題が解消した。			
評 価	図書館	A	図書館協議会	A

### ●図書館協議会の意見

- ・ 宅配サービスの促進を図るには、広報に掲載するが良いのではないかと。
- ・ 宅配サービスは手続きや配送など、業務量が多いことから、促進を図るのであれば、対応する人員も確保する必要がある。
- ・ 本館は老朽化の問題に加えて、坂があることで利用困難な方が多かったが、駅前への移転により、利便性の向上につながった。

### ●結果の分析及び改善策

#### 【結果の分析】

- ・ 宅配サービスの促進を図る必要があるが、担当する人員の確保が課題である。
- ・ 障がい者支援資料の所蔵数は前年度より増加しており、資料の充実については順調である。
- ・ 多言語サービスについては、開催が今年度で3年目となり、国際交流センターとの連携も円滑に実施できている。

#### 【改善策】

- ・ 多言語サービスについては、今後も国際交流センターと協力して、読み手となるボランティアを派遣してもらい、様々な言語でのおはなし会開催に取り組む。
- ・ 宅配サービスの促進に向けて、担当人員を確保するとともに、広報等での周知方法を検討する。